

国内での鳥インフルエンザ情勢について

11月28日
青森県青森市
フランス鴨農場 16,500羽
H5亜型(高病原性疑似患畜)

11月21日
北海道標津町
死亡野鳥(オオハクチョウ)
H6N2亜型

11月29日
新潟県関川村
採卵鶏農場 310,000羽
H5亜型(高病原性疑似患畜)

11月28日
岩手県盛岡市
死亡野鳥(オオハクチョウ)
H5N6亜型(高病原性)

11月21日～
鳥取県鳥取市
野鳥(コマモ)糞他
H5N6亜型(高病原性)

11月21日～
秋田県秋田市
死亡飼育鳥(コクチョウ3羽)
H5N6亜型(高病原性)

11月22日～
鹿児島県出水市
死亡野鳥(ナベヅル8羽他)
H5N6亜型(高病原性)

11月18日
鹿児島県出水市
渡り鳥ねぐら水
H5N6亜型(高病原性)

国内でのウイルス検出を受けて
環境省が実施する国内野鳥対応
はレベル3の段階にあります

- ◆各地で死亡野鳥等から鳥インフルエンザウイルスが検出される中、青森県及び新潟県の家きん飼養農場で高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型疑似患畜)が発生しました。
- ◆現在、韓国では同型の高病原性鳥インフルエンザ(H5N6亜型)が全国的に発生する事態となっています。
- ◆今後、家きん飼養農場で全国的に発生する危険性があり、引き続き関連情報把握と発生予防対策に努めてください。